

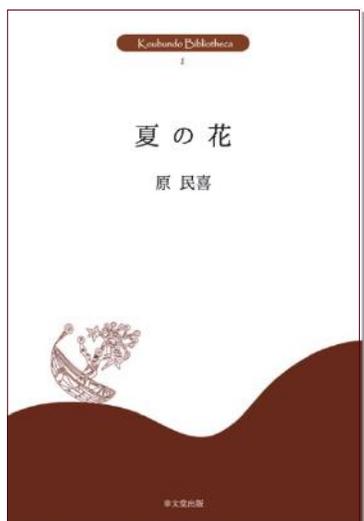


8月下旬発売予定

Koubundo Bibliotheca 1

夏の花 原民喜 著

遠藤周作をして「広島原爆を描いた小説の中でも最高のもの」と言わしめた名作



原爆小説の最高傑作として名高い 表題作を含む「夏の花」三部作を収録 戦後70年の今年、必読の一冊

八月初めの一日亡妻の墓に詣でて名も知れぬ「夏の花」を手向けた作者は、その翌々朝起き脱げのままの姿で原子爆弾の一撃にあう。この作品は、それから丸二日にわたる凄惨な広島の実景と郊外の八幡村へ避難してからの事実を、ときにはカタカナで書きなぐり、時には出来事の前後のつながりも不明瞭なまま挿入されている。一見ルポルタージュ風の冷静な視覚的描写の中に犠牲者に対する作者の哀傷や祈りの念が深くこもっており、読者に清冽な印象と感動を与える。

※広島市立中央図書館「WEB 広島文学資料室（原民喜の世界）」より抜粋

〈著者紹介〉原民喜

1905年広島市生まれの詩人、小説家。慶應義塾大学英文科卒。

はじめ糸川旅夫の筆名で詩人として出発するが、36年頃から『三田文学』などに短編小説を発表。妻の死の翌45年に郷里の広島に疎開して被爆。そのときの惨状をメモした手帳をもとに書いた「夏の花」（47年）は、第一回水上滝太郎賞を受賞した。被爆の翌年から再び上京して数々の作品を発表していたが、51年3月、体調不良と厭世観を苦に鉄道自殺。

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。（了解者：JRC 後藤）

【ご注文はJRCへ】 FAX 03-3294-2177

(株) JRC 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34 風間ビル1F TEL.03-5283-2230

ご注文申込書	貴店番線印	冊	夏の花 原民喜 著
	ご担当		B6 変 並製 104 頁 本体 900 円 + 税 ISBN 978-4-907965-03-7 TEL.093-555-1385 FAX.093-555-8441 幸文堂出版

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。